



# AIST Today に見る産総研

## 産総研 2002 年の活動を振り返って

AIST Todayは、産総研の最新研究や諸活動などの情報を多角的に紹介してきました。ここでは、産総研の事業・活動の中から特に印象深いものをピックアップすることにより、この1年間の産総研の「次のステップへの展開」の軌跡を振り返ってみました。

### ◆「産総研のさらなる一步」 理事長メッセージ

新年度に当たって理事長は、「世界水準の競争力」「未来社会像に至るシナリオを常に進化させる自律性」「柔軟でダイナミックな組織」の特性を研究ユニットが有することを期待すると共に、本格研究の確立、攻めの姿勢による産学官連携と第2種の基礎研究の推進、そして大人のベンチャーへの挑戦を通したベンチャー起業の活性化を主要活動目標として、提示されました。



### ◆柔軟な組織対応、新研究ユニット誕生

技術の進歩が一段と加速しつつある現代にあって、十分な競争力を確保していくためには組織の機動性、柔軟性は不可欠です。産総研は、独法化の利点を十分生かしながら、社会の要請に応えるべく、的確な対応をができる組織作りを目指しており、今年には次の研究ユニットの新設・改廃を行いました。



1月 1日	グリッド研究センター設立	7月 1日	年齢軸生命工学研究センターおよびジーンファンクション研究ラボ設立(ジーンディスカバリー研究センターを改組)
3月 31日	グリーンプロセス研究ラボ廃止	9月 1日	生物機能工学研究部門設立(生物遺伝子資源研究部門と分子細胞工学研究部門を統合)
4月 1日	メンブレン化学研究ラボ設立 マイクロ空間化学研究ラボ設立 先端バイオエレクトロニクス研究ラボ設立 極微プロファイル計測研究ラボ設立	10月 1日	技術と社会研究センター設立 単一分子生体ナノ計測研究ラボ設立
4月 15日	爆発安全研究センター設立		
6月 1日	糖鎖工学研究センター設立		

### ◆アドバイザリーボード、運営諮問会議開催

産総研運営諮問会議は、研究所の運営と研究活動について外部の目から総合的に検討を行い、助言を得ることを目的として、国内外各界の指導的有識者をメンバーとして開催されました。その初回の会議が5月16日に臨海副都心センターで開催され、理事長の示した経営理念に対する討論や産総研のミッション、新しい制度、活動実績の妥当性、今後の方向性などの各議題について討論されました。結果は「議長サマリー」として理事長に提言されました。



### ◆産総研米国シンポジウム“HIT2002”開催

米国シンポジウム「2002 AIST Showcase Symposium on Human Information Technology (HIT2002)」は、米国でのIT関連研究成果の技術移転可能性の探索、共同研究の推進等を目的に、研究ビジネスのメッカ、シリコンバレー(カリフォルニア州サンタクララ市)で6月11日に開催されました。このような産総研の技術紹介を目的としたシンポジウムを積極的に開催することにより産総研の新しい経営戦略がアピールできました。





## ◆スーパークリーンルーム産学官連携研究棟完成

スーパークリーンルーム産学官連携研究棟が、3月末につくばセンター西事業所内に完成し、6月に竣工記念式典が行なわれました。本研究棟には、研究用としては世界トップクラスのスーパークリーンルーム（クラス3）および研究クリーンルーム（クラス5）が設置され、400名を超える人員が集結しています。ここでは「半導体MIRAI」、「HALCA」、「あすか」の3つの連携したプロジェクトにより最先端半導体研究開発が行なわれています。



## ◆ベンチャー開発戦略研究センター設立

ベンチャー開発戦略研究センターが10月15日に設立されました。ベンチャー開発戦略研究センターは、平成14年度文部科学省「戦略的研究拠点育成事業」に採択され設立したもので、平成14年度から5年間で、年間10億円の委託費を得て、公的研究機関の技術シーズによるベンチャー創出システムの研究に取り組みます。



## ◆飯島センター長、ベンジャミン・フランクリンメダル受賞

2002年ベンジャミン・フランクリンメダル物理学賞が新炭素系材料開発研究センターの飯島澄男センター長に授与されました。受賞テーマ:「多層および単層カーボンナノチューブの発見、およびその原子構造とらせん状態の解明、これによるナノスケール科学と電子工学における凝縮物質と物質科学の急速な進展への著しい貢献」



## ◆メンタルコミットロボ「パロ」ギネスブックに認定

「パロ」が「世界で最もセラピー効果のあるロボット」としてギネス世界記録に認定されました。「パロ」は、人間共存型ロボットとして、人の心を与える精神的な影響を研究するために、知能システム研究部門の柴田主任研究員らにより開発されました。これまで筑波大学付属病院小児病棟や高齢者向け施設等に導入され、その癒し効果等を実証しています。



## ◆世界最高精度、石油大流量校正設備完成

石油製品の取引には証明用の石油流量計が必要ですが、これまで石油流量の国家標準がなかったことから、国際的なシステムに準拠した石油流量計のトレーサビリティ認定制度による対応が求められ、石油取引用の標準流量計を供給する国家標準施設（石油流量校正施設）がつくば北に建設されました。ここには灯油と軽油の2つの試験ラインがあり、世界最高の精度での自動校正が可能となっています。今後長期安定性を含めた詳細な性能評価を行い、国際的な整合性が確認された後、2005年に標準供給が開始される予定です。



## ◆「あなたの好奇心とやる気」応援します！ 一般公開

今年も土曜日や夏休みを利用して、一般公開を開催しました。今年は、従来型の展示に加えて、来場者が実際に参加する「体験型サイエンス実験ショー」が各地域センターで実施され、未来を担う科学者のタマゴたちは科学の楽しさを感じていました。いずれの地域センターにも多くの方々が来場し、産総研の在り方・役割を十分に理解してもらえた公開となりました。

